

第 5 章 区域における良好な景観形成に関する方針（法 8 条第 2 項第 2 号）

1．骨格的景観形成の方針

先にまとめた、各々の景観特性と課題を踏まえて、骨格的景観づくりの方針を以下に定めます。

1 - 1 斜面樹林等、面的な緑

<基本目標>

- ・骨格としての 緑を保全し、緑豊かな景観の形成を目指します。

<全体方針>

斜面樹林など面的な緑は、公園緑地の緑と合わせて、那覇市の貴重な親水景観を生み出す貴重な緑地として保全します。

都市全体や地域・地区を縁取る緑の景観要素としてまもり、潤いのある景観形成を図ります。

<個別方針>

首里王府時代の歴史的な緑並びに稜線のスカイライン(末吉～ニシムイ～虎瀬～弁ヶ嶽～崎山～首里城公園一帯)の保全を図ります。

首里歴史エリアにおいては、緑の稜線のスカイラインを越える建物等の高さを制限します。

地域・地区を縁取り、メリハリをつくる崖地、海崖地など斜面地の緑は可能な限り保全します。

斜面樹林地にある住宅地等は、地形に馴染ませ、斜面の緑と調和した緑豊かな潤いのある景観形成を図ります。



末吉～ニシムイの緑の稜線

1 - 2 地域・地区の自然軸としての河川・那覇らしさを有する西向き海岸線

<基本目標>

- ・緑の景観形成と共に個性的な親水景観の形成を目指します。

<全体方針>

那覇市の特有な景観を構成する海や港湾水際線、河川などを「水の骨格軸」として保全し、親水景観の形成を図ります。

都市環境保全要素としての機能を強化させるとともに、自然生態系の重要な空間として保全を図ります。

水と緑のネットワークを強化することによって、一体的に水・緑豊かな景観形成を図ります。
自然（水・緑）と歴史・文化が融合し、人々が楽しく交流できる景観形成を図ります。

<個別方針>

<地域・地区の自然軸としての河川等>

河川の水質浄化と河川緑地の保全を図り、あわせて水生動物、野鳥の生息環境の保全・育成を図ります。

河川沿いの緑化によって緑豊かなオープンスペースを創出し、河川と緑が一体的な景観形成を図ります。

河川沿いの建築物等は、形態・色彩・素材ともに周辺の景観に調和させます。

河川沿いの建築物等は、連続する建築群の形態と色彩、スカイライン並びに緑との調和に配慮し、対岸から伸びやかで広がりのある眺望景観の確保に努めます。

那覇らしい個性のある護岸形態となるよう努めます。

橋梁等（河川や港湾を跨ぐ構造物）は、形態・色彩・素材ともに周辺の景観に調和させます。

橋梁等は、アイストップとして印象化されるように整備を図ると共に、河川の眺望景観を享受できるよう視点場や休憩空間として整備を図ります。

隣接市との両岸一帯となった水・緑景観の保全・修景・創出を図ります。



安里川と牧志・安里再開発



新港ふ頭と天久緑地一帯

<那覇らしさを有する西向き海岸線>

埋め立てなどによって改変された海岸線や、新たに創出する水際線は、可能な限り柔らかく自然になじむ、人々にとって身近となるような景観形成に努めます。

那覇ふ頭・軍港一帯は、がじゃんぴらの斜面樹林地の緑と海に調和する印象的な景観形成を図ります。

泊ふ頭・新港ふ頭一帯は、天久緑地の緑と海に調和する印象的な景観形成を図ります。

1 - 3 地域・地区を貫く・区切る・つなぐ 幹線道路軸（モノレール軌道を含む）

<基本目標>

・都市の印象を高め、都市をわかりやすくする幹線道路軸景観の形成を目指します。

<全体方針>

地域・地区を貫く・区切る・つなぐ幹線道路軸は、各々の道や沿道の機能にあわせ、テーマ性を有した景観形成を図ります。

また可能な限り街路樹などで緑化・修景を図ります。

都市モノレールの各施設が、沿線の景観に調和するよう努めます。

<個別方針>

都市の玄関口や市域の骨格となる景観をつくる広域幹線等は、県都として印象の強い、端正で風格のある景観形成を図ります。

地域・地区に馴染む固有の景観をつくり、人々に親しまれる幹線等は、地域・地区の用途や特性等に応じて、「楽しい・賑わいのある」、「落ち着いた・安心感のある」、「きれいで分かりやすい」などのテーマにふさわしい景観形成を図ります。

幹線道路や地域・地区の主要道路の交差点は、地域・地区の用途や特性等に応じて、分かりやすく安全であることを基盤に、「象徴的な通りのゲート」や「印象的なアイストップ」、「信号待ちの人々へのさわやかな緑陰」となるなどのテーマにふさわしい景観形成を図ります。

地域・地区のシンボルとなる道路や歴史的に重要な道路等は、地域の個性を十分に表現した景観形成を図ります。

また世界遺産（首里城跡および識名園等）周辺の主要道路は、それら世界遺産と調和させた整備を図ります。

街路樹は原則として歴史性を感じさせる樹種を活用します。

沿道の看板類や、建物の色彩などを一定制御することなどによって、調和のとれた美しい景観形成を図ります。

モノレールから望まれる屋上や、屋根については、亜熱帯植物による屋上緑化や勾配屋根（赤瓦）などを用いることで、那覇らしい景観形成に努めます。

モノレール桁下は、可能な限り緑化・修景を図ります。

モノレールの沿線及び車体の広告物は、良好な景観となるよう規制・誘導します。



松山線：福州園前



龍潭通り

1 - 4 眺望点と眺望景観

<基本目標>

- ・那覇・首里の歴史景観や、わがまちの風景が見渡せる眺望点の整備と、眺望景観の保全を目指します。

<全体方針>

以下の景観を保全し、誰でも快適・安全に景観を見渡せる眺望点を整備します。

- ・首里杜一帯の歴史的眺望点からの眺望景観の保全

	眺 望 点 (～から)	視 対 象 (～に対する)
	末吉宮(眺望点)	首里城及び首里杜一帯
	ニシムイ御嶽	首里城及び首里杜一帯
	虎瀬公園	首里城及び首里杜一帯
	首里城広福門広場	首里杜一帯及び緑の稜線
	首里城東のアザナ	弁ヶ嶽、首里杜一帯及び緑の稜線
	崎山御嶽	首里城及び首里三箇の街並み
	首里城京の内	崎山御嶽、雨乞御嶽一帯及び緑の稜線
	繁多川公園	首里金城町一帯の街並み
	首里城西のアザナ	西の海を背景とした市街地

<個別方針>

首里杜(首里歴史エリアに相当)の眺望景観

- ・首里城内の眺望点の保全・整備ならびに眺望点から見渡せる首里杜一帯の歴史的な斜面樹林帯(スカイライン)を保全・育成します。
- ・眺望点からの、わがまちの眺望景観をできるだけ保全します。

首里城への眺望景観

- ・主要な歴史的眺望点の保全・整備ならびに眺望点から首里城への眺望景観を保全します。

首里金城町一帯の眺望景観

- ・主要な歴史的眺望点(識名坂:現在の繁多川公園入り口付近)の保全・整備ならびに眺望点から金城町の眺望景観を保全します。

建築物等の配置・形態・意匠

- ・眺望点から見渡せる建築物等や広告物は、眺望景観の妨げにならないような形態意匠や掲出の方法を考慮します。



儀保駅から首里城をみる

2. 類型別エリアの景観形成の方針

2 - 1 全エリア共通の方針

水や亜熱帯の緑豊かで潤いのある個性的な街並みの景観形成を図ります。また、歩いて楽しい街並み景観の形成を図ります。

歴史的・文化的な資源やその資源と一体となる景観の保全・修景・活用を図ります。

老木や巨木など、土地の記憶となる地域の景観資源の保全・修景・活用を図ります。

伝統的集落は沖縄の住宅地らしさを有する景観として保全・修景・活用し、また沖縄の集落構造を生かした人に優しい、親しみのある「スージグワー」の景観形成を図ります。

都市計画に関する基本的な方針を踏まえ、エリアにふさわしい建物高さ、形態意匠、色彩等とするための誘導・規制をします。

敷地や建物の緑化を図ります。

建築物や工作物（塀や擁壁など）に那覇らしさを有する素材の活用を図ります。

庇や軒、開口部などは、建築物と一帯となったデザインとすると共に、敷き際もきめ細かな表情をつくることによって、全体に調和する街並み景観の形成に努めます。

各エリアにふさわしい屋外広告物とするための誘導・規制をします。

大規模整備エリアと接する敷地においては、街並みの連続性に配慮します。

地域住民との協働の景観形成を図ります。



緑あふれる「スージグワー」



公開空地とオープンカフェ：旭橋再開発

*（用語）歴史的・文化的な資源＝文化財をはじめとする御嶽・拝所・樋川等、並びに生活文化等、地域・地区において重要かつ継承されてきた資源についての総称

*（用語）敷き際＝敷地と敷地の境界。「きわ」。ここでは敷地あるいは建物と道路が接する一帯を指す。

敷き際は庇の奥行き部分の壁面後退で生み出されたわずかの（敷地側）空間と、コンクリート蓋の側溝、狭い歩道、根の浮いた街路樹（街路空間）などで構成されていることが多く、狭い空間に劣化しつつある多様な素材等が混じりあい、景観としては良好でない様相を呈しているものを往々にして試みることができる。

2 - 2 エリア別の方針

(1) 低層住居エリア

(低層住居エリア 1 = 首里北、低層住居エリア 2 = 上間・仲井真・真地・国場)

< 景観整備の目標 >

- ・低層一戸建てを活かす広がりのある、緑豊かな住宅地景観の形成を目指します。
- ・旧集落の伝統的な景観資源の保全・修復・活用を目指します。

< 全体方針 >

団地等の中高層の建物群と周辺の低層住宅との見せる景観が、一体的に調和する景観形成を図ります。

風情のある「スージグワー」の活用によるコミュニティ道路を形成し、歩いて楽しく、変化のある景観形成を図ります。

< 個別方針 >

末吉や国場の旧集落は、沖縄の典型的な集落街路構造をいかした人に優しい花・緑豊かな景観形成を図ります。
また、伝統的な石垣などの保全・再生を図ります。

中高層建築群を形成する場合は、そのスカイラインは低層住宅群のつくるスカイラインに緩やかに馴染ませるよう配慮する、または植栽によって強調ラインを緩衝します。



上間一帯



首里石嶺町“御殿山”一帯

* (用語) 沖縄の典型的な集落街路構造 = 東西に長い街路を南北道が繋ぐ長方形の区画をもつ街路構造のひとつ。

(2) 住居エリア

(住居エリア 1 = 那覇北・安謝川沿い、 住居エリア 2 = 真和志地区一部、
住居エリア 3 = 小禄地区一部)

< 景観整備の目標 >

- ・ 中層建物と戸建て住宅が調和した緑豊かな街並みの景観形成を目指します。
- ・ 都市基幹公園と水辺との一体化や、斜面樹木の保全・修復を目指します。
- ・ 旧集落の伝統的な景観資源・要素の保全・修復・活用を目指します。

< 全体方針 >

商業・業務機能等の用途の混在を抑制し、戸建て住宅との調和に努めます。

< 個別方針 >

奥武山公園は国場川の水辺と一体的な緑の空間の維持、創出を図ります。また、都心へのゲートとして国道 331 号に隣接する空間を印象深い緑などとして修景を図ります。

(住居エリア 3)

漫湖公園は国場川の水辺と一体的な緑の空間の保全育成を図ります。また、ヒルギ林との連続的な緑の調和に配慮すると共に、野鳥の飛来する干潟（漫湖）の緩衝林として適切な保全・育成を図ります。

(住居エリア 2 住居エリア 3)



国場川：壺川・奥武山

森口公園は区域を明確にする斜面緑地であり、那覇のまちからはよく視認される緑の稜線として保全・育成を図ります。(住居エリア 3)

安謝や小禄、宇栄原、具志の旧集落は、「スーグワ」の敷き際の緑化・生垣、石垣づくりや赤瓦の活用などによる景観整備を図ります。また、「歩いて回れる地区」としてのコミュニティ道路等の景観整備を図ります。

(住居エリア 1 住居エリア 3)

栄町市場一帯は、那覇のマチグワの雰囲気を守りつつ、市場一帯のアーケード街の再整備などを初めとする下町の活気・賑わいのある景観整備を図ります。(住居エリア 2)



栄町市場

(3) 都心住居エリア

- (都心住居エリア 1 = 国際通り以北、国道 58 号と新都心に囲まれた範囲、
都心住居エリア 2 = 国道 58 号以西、都心住居エリア 3 = 牧志・壺屋一帯、
都心住居エリア 4 = 松尾・泉崎・樋川・楚辺・壺川一帯)

< 景観整備の目標 >

- ・住・商・業の混在地区に一定のまとまりをつくり、低・中層建築物と高層建築物が調和する、活気・賑わいのある景観形成を目指します。

< 全体方針 >

エリア内の都市河川空間との一体化によって確保されるオープンスペースを活かした水・緑豊かな街並み景観の形成を図ります。

微地形と平坦地（埋立地）という特性を活かした賑わい空間・沿道景観の形成を図ります。

接する建物との連続性に配慮したファサードの形成に努めます。



くにんだなかみち



松山の住宅地

(4) 大規模整備エリア

(大規模整備エリア 1 = 那覇新都心、大規模整備エリア 2 = 真嘉比・古島、
大規模整備エリア 3 = 小禄金城)

<景観整備の目標>

・地区計画を十分に活用した良好な都市景観形成を目指します。

<全体方針>

主として住居系の地域においては緑化修景等による潤いのある景観づくり、商業系の地域においては、活気・賑わいのある空間作りに努めます。

建物の後退によって生み出された空間は、道路側に積極的に見せるよう緑化し、緑化された後退部分と道路空間が一体化した緑豊かな沿道景観の形成を図ります。

<個別方針>

新都心公園は、連続する黄金森公園や銘苅古墓群等とともに、那覇新都心地区における緑深く、憩いの場として保全・育成を図ります。(大規模整備エリア 1)

がじゃんぴら公園は区域を明確にする斜面緑地であり、中心市街地からはよく視認される緑の稜線として保全・育成を図ります。(大規模整備エリア 3)

那覇新都心地区一帯の商業地は地域の商業核であり、また「新しい那覇市の顔」のひとつとして、緑豊かな広々とした空間を維持しつつ、さらなる賑わい・活気のある空間形成を図ります。(大規模整備エリア 1)

小禄金城、モノレール小禄駅一帯の商業地は小禄地域の商業核として、緑豊かな広々とした空間を維持しつつ、さらなる賑わい・活気のある空間形成を図ります。(大規模整備エリア 3)

真嘉比・古島地区一帯は、緑豊かでゆとりある良好な低層住宅地の形成を中心とした空間形成を図ります。(大規模整備エリア 2)



那覇新都心地区：おもろまち



真嘉比・古島地区：古島の住宅



小禄金城地区：金城の商業地区

(5) 新規開発エリア

(新規開発エリア = 那覇軍港)

< 景観整備の目標 >

- ・那覇の歴史文化を十分に踏まえ、亜熱帯の緑豊かなまちづくりを目指します。

< 全体方針 >

海・空からの視点にも配慮したウォーターフロント景観の形成に努めます。

那覇市のゲート、ウォーターフロントとしてふさわしい形態・意匠を考慮します。

地域の歴史的遺産やかつての集落資源等の保全・修復・修景・活用を図り、目新しい景観づくりだけではなく、歴史性・地域性を有した景観、加えて亜熱帯の緑豊かなまちづくりなど特徴のあるまちなみ形成を図ります。

< 個別方針 >

屋良座森城や御物城など歴史的な遺産の保全・修復・修景を図ることで、歴史的な港湾にふさわしい景観形成を図ります。



御物城とがじゃんびら

(6) 国道 58 号沿道エリア

(国道 58 号沿道エリア = 国道 58 号沿道：安謝交差点～明治橋)

< 景観整備の目標 >

- ・県都としての端正な風格づくりと共に、中心業務地としての活気や賑わいのある顔づくりを目指します。

< 全体方針 >

県都さらには中心市街地・業務地の顔となるような、「風格とシンボル性」をそなえたメインストリートの景観形成を図ります。

拠点業務地として、街並みの連続性に配慮した、歩いて気持ちの良い景観形成を図ります。

都市河川空間との一体化によって確保される、オープンスペースを活かした水・緑豊かな街並み景観の形成を図ります。

< 個別方針 >

可能な限りポケットパークなど、道を歩く人々のオアシスともなる空間の確保に努めます。

後退空地などにおいては、風格のある緑を街路樹と一体的に植栽することなどで豊かな緑景観の形成を図ります。

(7) 商業・観光エリア

(商業・観光エリア = 国際通り及び沖映通り一帯・平和通り界隈など)

< 景観整備の目標 >

- ・国際的な交易・観光都市として、また、国際通り一帯は、歴史・文化の名にふさわしい亜熱帯の瑞々しい景観形成を目指します。
- ・「マチグラー」景観の保全・育成を目指します。

< 全体方針 >

拠点となる商業地として、街並みの連続性に配慮し、小路（パラダイス通り他）を活用する等、界隈性のある商業空間を形成し、歩いて楽しい街並み景観の形成を図ります。

建物低層部は、商業・業務施設で構成し、賑わいのある景観形成を図ります。

シンボルとなる街路樹の選択や、店先の植栽スペース確保、あるいはプランターの設置等、道路と一体となった空地の緑化や壁面・窓際の緑化の推進により、潤いのある景観の形成を図ります。

< 個別方針 >

国際通りや沖映通り、平和通り等主な商店通りの背面にあたる場所などは、宅地内緑化・生垣、石垣づくりなど、沖縄の個性的な街並みデザインの推進・整備を図ります。併せて、緑ヶ丘公園の景観に配慮します。

商店街通りの交差点部分では、商店の空間と一体的な景観整備に努め、活気・賑わい・休憩など通りにふさわしいコーナー性を意識した意匠の採用やオープンスペースの確保、緑化などにより、魅力ある街角の景観形成を図ります。

(8) 壺屋重点地区

(壺屋重点地区 = 壺屋地区都市景観形成地域)

< 景観整備の目標 >

- ・歴史的・伝統的集落景観の保全・育成を図り、伝統的な窯業の集落らしさを有する街並みの形成を目指します
- ・「スージグラー」一帯は、残された沿道石垣等を保全・修復し、屋敷内植栽や生垣の創出、石垣修景植栽・擁壁・法面緑化等を行うことで、花・緑豊かな潤いのある景観形成を図ります。



壺屋の「スージグラー」

(9) 沿岸エリア

(**沿岸エリア** = 泊ふ頭・若狭・辻・西・那覇ふ頭臨港地区一帯)

< 景観整備の目標 >

- ・亜熱帯の水緑あふれる都市型リゾート景観形成を目指します。

< 全体方針 >

海・空からも見えやすい当沿岸エリアは、それらの視点にも配慮したウォーターフロント景観の形成に努めます。

道も「庭園」と位置づけ、道路と敷地の一体的・連続的な空間構成の形成に努め、花・緑豊かなリゾート景観の形成を図ります。

敷地の大きさを活かし、ブロックごとに連続する美しく修景された沿道建物と街路との一体的な景観形成を図ります。

敷地内は、十分なオープンスペースの確保に努めます。また、緑化をさらに推進し、落ち着きと親しみ・亜熱帯庭園らしさの感じられる景観形成に努めます。



波の上ビーチ

< 個別方針 >

- ・旭ヶ丘公園は隣接する辻・若狭緑地と共に緑豊かな水際線の形成を図ります。また、海辺へアクセスしやすい護岸構造等に配慮します。また、波之上の海崖植物（モンパノキ、クサトベラなど）及び歴史的な空間の保全を図ります。

(10) 流通・業務エリア

(**流通・業務エリア 1** = 那覇新港一帯、**流通・業務エリア 2** = 那覇空港・自衛隊基地一帯)

< 景観整備の目標 >

- ・沖縄の玄関口にふさわしい景観形成を目指します。

< 全体方針 >

海・空からも見えやすい当流通・業務エリアは、それらの視点にも配慮したウォーターフロント景観の形成に努めます。

周辺街並み景観と一体的に亜熱帯の海や緑の豊かさを感じさせる沖縄全体のゲートとなる景観の形成を図ります。

巨大施設等は、周辺の景観と調和し圧迫感を与えないよう位置や形態を配慮します。

< 個別方針 >

緑地や街路などでは、潮風などの環境圧に馴染む樹種の選択等によって臨海らしい緑景観の形成を図ります。(**流通・業務エリア 1** **流通・業務エリア 2**)

自衛隊基地については、境界部の緑化・修景を図ります。また、モノレール車窓からの眺望に配慮した景観の形成に努めます。(**流通・業務エリア 2**)

(1 1) 識名歴史エリア

< 景観整備の目標 >

- ・ 識名園周辺一帯の文化財や歴史的遺産が有する景観の修復・修景・活用を目指します。
- ・ 旧集落の伝統的な景観資源の保全・修復・活用を目指します。

< 全体方針 >

識名園周辺一帯は、世界遺産の緩衝地帯として、歴史的・文化的遺産の保全・修景・活用を図ります。地域の個性を生かした歴史・文化にふさわしい住宅地景観の形成を図ります。

< 個別方針 >

上間や識名の集落は、樋川や御嶽の杜、歴史の道などの歴史的・伝統的資源、地域資源の保全・修景・活用整備を図り、あわせて沖縄の住宅地らしさを有する景観形成を図ります。

識名園は、内部の庭から識名御殿を望んだ場合、その背景に突出する建築物や工作物等（鉄塔など）が設けられないよう誘導・規制を図ります。あわせて「勸耕台」の有する景観をいかすよう配慮します。

広大な墓地群一帯の街路沿景観を歴史エリア、世界遺産の緩衝地帯にふさわしく調和させるよう配慮します。



上間集落の石垣



識名園

* 「勸耕台」の有する景観をいかす = 勸耕台（かんこうだい）とは、識名園内にある沖縄本島南部地域を見渡すことの出来る展望所で、海が全く見えない大陸的な景色を見ることが出来ます。中国からきた冊封使をここへ案内し、琉球が決して小さな国土ではないことを訴えたと思われます（園内表示板参考）。その景観をいかすこと。

(12) 首里歴史エリア

< 景観整備の目標 >

・亜熱帯庭園都市の典型的なエリアとして、歴史的・伝統的景観の保全・修景・活用を目指します。

< 全体方針 >

首里城をはじめとする世界遺産及びその緩衝地帯、文化財・歴史的遺産の集積地、歴史的な風情を残す緑豊かな城下の街並みとして、その景観の保全・修景・活用を図ります。

建物や街路などは、首里城や首里三箇などの歴史的な集落、樋川や御嶽の杜などの歴史的・伝統的景観資源などに調和した形態や意匠とします。また、赤瓦や石垣など地域の個性を生かした緑豊かな低層住宅地の景観形成を図ります。

「スージグワー」の保全・修復を図ります。

歴史的な首里の骨格となる緑の稜線の保全にあわせ、それらの眺望景観の保全及び眺望点の整備を図ります。

建築等の高さは、首里の骨格となる緑の稜線が、首里城内の主要眺望点から視認できるよう配慮します。



屋根シーサー



崎山公園（崎山馬場通り）のせせらぎ



寒川緑地



崎山馬場通り

(13) 首里金城重点地区

(首里金城重点地区 = 首里金城地区都市景観形成地域)

< 景観整備の目標 >

- ・ 歴史的・伝統的集落景観の保全・育成を目指します。

< 全体方針 >

首里金城町が有する集落景観の保全・育成を図ります。

一体としてある御嶽・拝所・樋川などの歴史的・伝統的資源とそれを取り巻く緑などを保全・育成し、個性豊かな住宅地としての景観形成を図ります。

石垣、石畳道、「スージグワー」の保全・修復・修景を図ります。



首里金城町内

(14) 龍潭通り重点地区

(龍潭通り重点地区 = 龍潭通り沿線地区都市景観形成地域)

< 景観整備の目標 >

- ・ 城下の沿道景観の形成を目指します。

< 全体方針 >

歴史的・伝統的な通りとして沿道の街並みを再構成することで、「首里城下の沿道景観」の形成を図ります。

一体としてある御嶽・拝所・樋川などの歴史的・伝統的資源と、それを取り巻く緑などを保全・育成し、個性豊かな景観形成を図ります。



龍潭通り